

イッツ
ルナティック
タイム!

ちんぽ



ADULT ONLY



ご主人様と共に幻想郷に
来たクラウンピースは
妖精らしく人間に
イタズラをしていた

きゃははははは!
おもしろーい!

うひゃあ



あつまた誰か
来たわ

急いで
隠れて……



今だっ
あたいの松明を
浴びて狂っちゃえー!!

えっ!?



わわっ!!



いたたたたた…

えええええ!!
!?



そ、そうなんだ…
ところで…
さっきの…
お股の一体…?

お股…?
ああ!



あんたを
泣かせちゃうぞ
どうだ怖いカー!!
じ、地獄…



うー、しっばい
しちやった

あの…
キンは…?



これがどうかした?
そんなにまじまじと見つめて…



おちんちんのこと?

私達妖精にはみんな
ついてるけど、何に使うのか
よくわかんないんだよね



まずはこうして手で
触って…
刺激するんだ

あっ…



そ、その使い方…
わかるんだけど…
教えて
あげようか?

ホント!?
教えて教えて!!

じゃ、じゃあそのまま
スカート
たくしあげててね…

うんっ



この
ホントの呼び方はね

チンポって
言うんだよ

チンポ…♡



あっ…な、なに…っ♡
自分で触った時は
なんともなかったのに…

触られてると…なんだか
おちんちんがむずむず
するよう…♡

でもイヤじゃなくなっ…
もっとして欲しい感じ…っ

はあはあはあ…
な、なんで…

はあ

チンポすっごく
おおきく
なっちゃった…

クラピちゃん
ポツキしたこと
ないの？

ポツキ…？



おチンポが興奮して
大きくなることを
ポツキっていうんだよ



そ、そうなんだ…

おチンポ…ポツキ…
なんだかすごく
やらしい響き…っ

チンポがポツキしたら
今度はね…





おっ♡お口でっ♡
チンポしごいちや
だめええ♡



お口で唾えるんだ

ひあああああ
あああ♡

ぬる



思いつきりシゴいて
あげるから…

そういうときは
「イク」って
いうんだよ♡



んはああああ♡
イク♡イクうっ♡
チンポイク♡

エッチな声で
「チンポイク♡」って
言ってツ♡



あっ♡あっ♡あっ♡
なんかへん♡

おチンポヘンだよ…♡
なにか来る…うう♡
なにか来ちゃうよおおっ♡

クラピちゃん
チンポイキそう
なんだね…

んほおおおおおおおおお
チンポイクウウウウウウウ

なっ♡なんか出てるっ♡
白いの出しやってるうううう
んほほほほほほお♡

精通おめでとう♡
次はもうひとつの
使い方なんだけど…

いいよその調子っ
もっと腰突き出して
アへ声聞かせてっ♡





おほおほおほおほ
おおっ♡

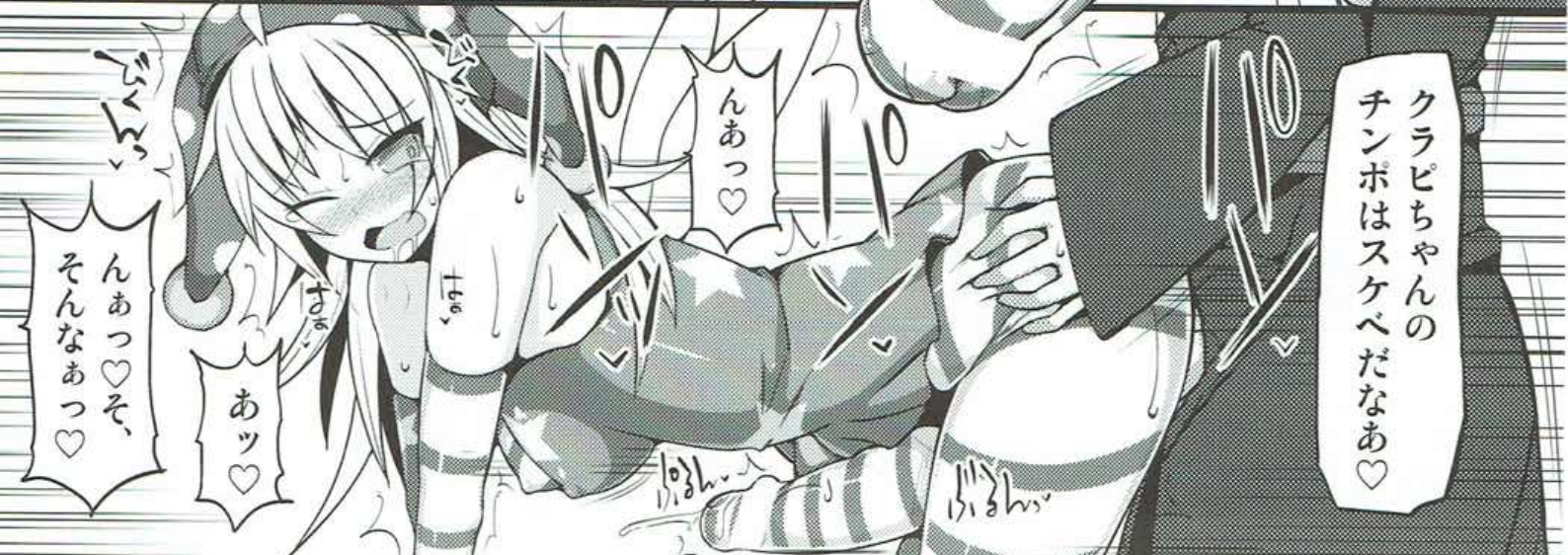
チンポをクラピちゃんのおマンコに突っ込みますっ♡



ふふ…オマンコに
挿入しただけで



チンポ汁ダラダラ
垂れ流しちゃって…



んあっ♡

クラピちゃんのおマンコはスケベだなあ♡

んあっ♡そ、
そんなあっ♡

あッ♡

パンパン突くたびに
おチンポ揺れて
すごくエッチだよ♡

んあああああ♡

やああ…♡
おっ♡おチンポっ♡
ホツキ治らないよう…♡

んあああああ♡
そっ♡そんな激しく
したら…あっ♡

あっ♡あっ♡
くる…うっ♡また
昇ってきてるううう♡

チ、チンポに
気持ちいいのまた
来ちゃうッ♡

んにやあああああああ♡
イクううううう♡

おチンポイクっ♡
また白いの出ちやううッ♡

きもちよすぎてチンポ
狂っちゃうよおおお♡

ふう…上手に
イケたね♡

これからもっと
練習しようか…♡

数日後…

クラピちゃんすっかり
おチンポの使い方
わかったみたいだね♡

んへええっ♡おっ♡
おチンポまたイクっ♡
でりゆううっ♡

えへへ…また上手に
しゃせーできたよう…♡
ご褒美におチンポ狂いの
クラウンピースをもっと
可愛がってくださいしい…♡



あとがき

こんにちわ！この度はこの本をお手にとって頂き、ありがとうございます。
翡翠石です。

いやあー…薄い！それにしても今回の本は本当に薄いですね。
しかもただでさえ薄いのに、本文の1/3がゲストという体たらくっぷり！
りんどうさん、灯籠さん、素敵なゲストを本当にありがとうございます…！
実はオフセットで印刷できるギリギリのページ数だったりするので、
この本が無事に頒布できているのも、お二方のおかげでございますっ。

今回は秋季例大祭から紅樓夢までの期間が短く、翡翠石の甘い
スケジュールリングが災いして、少ししか漫画を描くことができませんでした…
秋に完成予定のCG集も冬にズレこんでいるし、この反省を活かして、
来年はもっと計画的に活動していこうと思います。

ページ数こそ少ないですが、一生懸命手と魂は入れましたので、
この後のゲストさま含め、最後まで楽しんで頂ければ幸いです。

反省はこのあたりにして…今回の本は東方Project最新作より、
地獄の妖精クラウンピースです。

皆さんは東方紺珠伝は如何でしたでしょうか？

いやあ、クラピちゃん、可愛いですよ。一目観た時から星条旗タイツの
虜でした。ぴちぴちエロい。あとつよい。

今作は難しいという噂を聞いていたのですが、噂に違わぬ強さでしたね。
それと紺珠伝は(も)曲がすごくよかったですね。今回の原稿中も何度も
繰り返し聞いていました。

そんなクラピちゃんですが、嬉しいことに人気は上々のようで、
頒布後しばらくはいろんな方のクラウンピース絵が見られて眼福でした。
それにしても、東方は何年たっても色あせない不思議な魅力がありますね。
これからも紺珠伝の新キャラたちのいろんなイラストや漫画等が
たくさん見られることを願っております。

それでは、ここまで長文にお付き合い下さりありがとうございました。
また冬コミか、来年の例大祭でお会いしましょう！

2015.11 Stapsrats 翡翠石

奥付

発行サークル: Stapsrats 執筆: 翡翠石(ヒスイ)

誌名: イツツルナティックちんぽタイム

発行日: 2015/11/1 印刷所: ねこのしっぽ

PixivID: 1473639 TwitterID: hisui_spats E-mail: spatz@hotmail.co.jp

※18歳未満の方の購入/閲覧を禁止します。

無断転載/複製複写/Webへのアップロードを禁止します。

「ここはどこー？」

彷徨っていたクラウンピースに一人の男が近づいて来た。

「君はもしかして、クラウンピースちゃんだね？」

「うん。あたいは地獄の妖精クラウンピース！ おじさん、ここがどこだか知っているの？」

「うひょー！ 遂にクラピちゃんと夢の中で繋がれたぞ！」

「夢？ 何を言っているの？」

男に、がっしと腕を回される。虚を突かれたクラウンピースは、反応する間も無く抱き締められる形で拘束されてしまった。

「クラピちゃん捕まえたあ♥」

「きゃ!? いきなり何を……!?」

「うっへえ〜！ スベスベだあ♥」

ヒップをナデナデされ、思わず変な声が出てしまった。

「こんなエロいタイツ穿いて……クラピちゃんがイケナイんだよ」

男はクラウンピースの左脚を両脚の太腿で挟み込み、腰をカクカクと振り始めた。熱く硬いものを太腿に押し当てられ、ピクンと身体を跳ねさせるクラウンピース。

「クラピちゃんのフトモモお〜♥ タイツだから全部スベスベだあ♥」

「いやあ〜っ！ ちょ、ちよつと！ 放して！ どいてよお！」

ぐいぐいと腕を引っ張ってみるが、この男、ものすごい力でクラウンピースにしがみ付いている。片腕はずっとヒップを撫でたまま、片腕だけでこの力である。クラウンピースが小柄であるが故に、力を籠めやすいのだろうか。焦るクラウンピースに追撃がやってくる。

「そしてこれが、生命の、穢れの象徴であるチンポかあ♥」

そう言っただけで男は股間をまさぐる。そこには男のモノと同じくらいに立派な肉棒。少し撫でられただけでガチガチに勃起してしまっただけは、タイツを思い切り押し上げていた。男はそれを軽く握り締め、スリスリと撫で

回してくる。じわじわとくすぐったい快感が下半身に響き、クラウンピースはお尻の穴をきゅっと締め上げた。

「んあ〜♥ チンポナデナデしないでえ♥」

「ほほお〜あつたかい♥ ピクピク言っただけでカワイイチンポだあ♥」

先端から熱いものが染み出し、タイツを濡らしていくのがクラウンピース自身にも分かった。

「シコシコしちゃおっかな♥ それシコシコシコ♥」

男は軽く手を握ったまま竿の上を擦り始めた。スベスベとした生地の上を手が滑っていく感触を肉棒に感じ、クラウンピースは身を強張らせる。

「チンポシコシコ駄目っ♥ チンポピクピクしちゃう♥」

「だんだん強くしてあげようねえ♥」

男は手を握り込んで肉竿にフィットさせ、上下させる。カリ首にぐりぐりと引っ掛かる指が、クラウンピースの快楽神経をピンピンと弾いた。

「んはあつ♥ やだっ♥ 変な声っ♥ おほっ♥ でちゃうっ♥」

「クラピちゃんのバキバキポッキンポ、すごく握り心地がいいね♥ チンポキ気持ちいいのかな?♥」

「きつ気持ち良くなかないー！ んほっ♥ 恥ずかしいよお……」

「じゃあ、これはどうかな?♥」

男は三本の指で亀頭を摘み上げると、きゅっきゅと捻るように擦り磨く。鈴口の先端から、ぷびゅつと透明な液体が噴き出した。

「んほほ♥ やはあつ♥ だめ♥ オチンポ先っちょクリクリっ♥」

既にクラウンピースの肉棒は発情してしまって、激しくされればイッてしまいうる程だった。しかし男の手加減によって今の状態をキープされていた。先走りを手を取って、クラウンピースの目の前で指の間に糸を作り、粘度を見せ付ける男。

「ほらクラピちゃんのオチンポ、こんなにネトネトだよ♥ は〜♥ とってもオイシそう♥ ナメナメしていい?」





お尻の穴を指でクリクリと弄りながら、男が耳元で囁いてくる。

「おほ♥ そ、そんなのイヤだよ……おんっ♥」

「ん〜、やっぱりナメナメしたいからするね♥ いただきまあ〜す♥」

勃起に、ぬるりと舌が絡み付く。根元から竿を舐め上げ、唾液をたっぷりと塗り付けて裏スジを舌先でチロチロと刺激する。

「なんだかオチンポがドキドキして……変な感じになっちゃうよお♥」

「れるれるれるる♥ クラピちゃんのチンポおいしいなあ〜♥ キャンディーみたいにしゅぶっちやおうかな〜♥」

ちゅっちゅっつと音を立てて先端にキスする男。そのまま突き出した唇を開いて、亀頭を口内へ滑り込ませていく。

「ほほおっ♥ ダメえっ♥ あっあ……入っちゃうう……♥」

ずぶずぶと呑み込まれていくクラウンピースの肉棒。

「ああああ〜っ……♥」

温かく、ぬるぬるとした口内。性棒を鷲掴みにされる感覚に、身体を強く張らせる。舌を回転させるようにして、亀頭の周りを舐め回す男。

「じゅぽおっ♥ にゅっぽにゅっぽ♥ んろろろろ♥」

遅しい勃起を吸い上げながら、唇を滑らせていく。肉棒が徐々に解放されて行き、唇がカリ首を擦り上げた。ゾクゾクと快感に身を震わせる。

「んほあっ♥ さきっちよ……っ♥ ぬるぬる……っ♥」

先端まで亀頭の先端に吸い付いて離してくれなかった。そのまま吸い込むようにして、再び肉棒を呑み込んでいく。

「じゅぶぶぶぶぶ……っ♥ れるれるるお♥」

「はあああ♥ ま、またオチンポ……っ♥ たべられちゃうっ♥」

奥まで呑み込んだかと思うと、また肉棒を解放していく。唇は密着させたままだ。

「んぽぽぽっ♥ んっっぽ♥ んっっぽ♥ ぐっぽ♥ ぐっぽ♥」

頭を前後させる程のディープスロートでチンポをしゃぶり立てる。喉の

奥で亀頭を締め付けられ、舌で竿を擦られてはたまらなかった。

「はあっ……♥ あっ♥♥♥ せーし……出そうっ♥♥♥ んっっ♥ 放し

てえっ♥♥♥ このままじゃあっ♥ お口の中に、出しちゃう……♥♥♥」

迫りくる射精感に耐えられず、下腹部をビクビクと痙攣させる。

「あぁあぁあぁ〜っ♥♥♥ でっ♥ でちゃうでちゃう〜っ♥♥♥」

ぐびゆるるるっ！ びゅぐっ！ びゅぐ！ どくっ……どくっ……

男の口の中へと精を放つてしまう。射出の瞬間いくつもの光が視界に閃き、後頭部がジリジリと痺れる感覚に、背筋を思い切り仰け反らせる。

「あぁあっ♥♥♥ オチンポっ♥ お口の中なのに……っ♥」

「んん〜♥ ごきゅっごきゅっ♥ んぐっんぐっ♥ れるれるる♥」

男はしかしその激しさは味わうための舐めずる動作とは比べ物にならない程激しく、まるでチンポとザーメンを貪る軟体生物のようだった。

ぢゅっ！ ぢゅぢゅ！ じゅぼじゅぼ……

「もう駄目えっ♥♥♥ イキチンポじゅぼじゅぼしたら駄目なおっ♥♥♥

またっ……またイツちゃううう〜っ♥♥♥」

ちゅぼちゅぼと音を立てながら竿をしゃぶり上げ、舌先で鈴口をほじり回し、激しくミルクを吸飲する。イツているチンポをさらに刺激されたクラウンピースはその強すぎる快感に悶絶した。

「おほおほおほ〜っ♥♥♥♥♥ またイクまたイクううっ♥♥♥♥♥」

びゅぐっ！ びゅぐるっ！ どくっ！ どくっ！

「んごぐっ♥♥♥ ごぐっ♥♥♥ ぐちゅぐちゅっ♥♥♥ ごくごく♥♥♥」

「男の人にせーし飲まれてイツちゃううっ♥♥♥ お口の中に出すの気持ちよしゆぎいっ♥♥♥ ザー飲みアクメキメちゃうのおおっ♥♥♥」

何度も精を搾られ、解放されたチンポ。快楽神経を蹂躪されきつたクラウンピースは、その場に寝転んだ。残留した精液がトロリと漏れる。

「ふはあ〜、満足したあ。よーし、そろそろ起きようかなー。とつても楽し

かったよクラピちゃん♥♥♥ また遊ぼうね♥♥♥」

おわり



クラピちゃん許すまじ!
描いた人:りんどう

ご主人様見てる?
あたいでーす!
地獄妖精クラウン
ピースでーす!

キヤハッ
♡

5ボスの先輩方と
闘ったけど弱すぎて
ビツクリしちゃった!
5ボス最強の座は
あたいに決まりだね♪

月
ブルン♡

イラッ



月面ルナティック系女子
でかぶってんのよ!
師匠特製の薄い本薬の
フルコースをくらええ!



ぐうおらあ!
妖精風情が現人神
なめてんじや
ねーですよ! 奇跡
をくらええええ!

ご主人様！友人様！
見えますかあ？あたい
先輩方にどすけべち○ぼ
妖精にしてもらえました
あたいのびゅーびゅー
見ててくださいいい♡

トロ〜ン

？♡

？♡

タ〜ン

ズ〜ン

ゴ〜ン

ビクッ♡
ビクッ♡

いいね♪クラブピちゃん
よく言えました！
良い子でちゅねー♪

ほらっ！お薬ち○ぼに私の
奇跡で無限に精液作ってあげ
ますよー♪おち○ぼ生活
1日目で不能にしてあげます
から安心して射精してくださいさ
いねクラブピちゃん♪

ぴんぽん♡
びゅーびゅー♡
びゅーびゅー♡

たしゆけて…
…あたい
狂っちゃう♡

ハ♡ハ♡ハ♡ハ♡ハ♡ハ♡
ズ♡ホ♡チ♡
ズ♡ホ♡チ♡

ご主人様…
友人様…
あお♡
あお♡
あお♡

The image features a stylized American flag with a blue field of stars at the top, followed by horizontal stripes of white, red, and white. The stripes have a jagged, torn-paper edge. On the left side, there is a cartoon character's head with long, flowing blonde hair and a blue visor. The text "2015 STAPSPATS" is centered on the red stripe.

2015 STAPSPATS